



アジア・ユースサミット (Asia Youth Summit)

公益社団法人アジア協会アジア友の会(JAFS)

発表内容

- アジア協会アジア友の会について
- アジア・ユースサミットについて
- 2021年度第7回アジア・ユースサミットについて
- アジア・ユースサミット SNS

公益社団法人アジア協会アジア友の会(JAFS)



アジア協会アジア友の会(JAFS)は、安全な水へのアクセスが欠乏しているアジアの農村に、安全な水(井戸、パイプライン)を贈り、人々の生活を改善することと同時に、農村における課題(衛生、教育、生活、環境など)に取り組み、自助自立した村づくりを行っている国際協力NGOです。

1979年10月に設立され、今年で42年目になります。

JAFSの活動

井戸／飲料水を提供
SDGs6「安全な水とトイレを世界中に」

水

植林、サイクルエイド
再生可能エネルギー
資源活用／普及

環境

SDGs7
「エネルギーをみんなに
そしてクリーンに」

SDGs13
「気候変動に具体的な対策を」

自立
支援



JAFS

since 1979
公益社団法人アジア協会アジア友の会
Japan Asian Association & Asian Friendship Society

教育

里親制度、学校建設、
給食支援、奨学金支援

SDGs2「飢餓をゼロに」

SDGs4「質の高い教育をみんなに」

マイクロクレジット、医療支援
職業訓練、女性自立支援
SDGs1「貧困をなくそう」
SDGs3
「すべての人に健康と福祉を」
SDGs8
「働きがいも 経済成長も」

アジア・ユースサミット

日本を含むアジアの13ヶ国の高校生たちが日本に一堂に会し、

基本共通課題である「地域の持続可能性」について議論し、

アクションプラン(行動指針)にまとめ、採択する合宿形式の国際会議（2年に1度開催）

参加国

日本、インド、インドネシア、カンボジア、スリランカ、タイ、
中国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、フィリピン、
ベトナム、マレーシア



アジア・ユースサミット

目指す姿

変革をリードするリーダーの育成

具体的行動を
起す力

アクション
プラン

課題を
解決する頭

議論

課題を
見つける眼

課題調査

- 社会の持続可能性について課題を選択し、自らがそれを探求・プロジェクト化し、自らが実践する機会を提供する
- 「環境、経済、社会」3つバランスを専門的視点から学ぶ機会を提供する

課題解決に向けた自主性が育成され、各地域で着実に成果が出てきている

第7回アジア・ユースサミット

日程：2021年8月28日(土)～29日(日)
及び9月18日(土)

場所：オンライン

テーマ：地域を良くするプロジェクトをつくろう!!

～コロナ禍で私たちができること～



内容

- 課題解決型プレゼンテーション(事前動画)
- グループディスカッション
- ケーススタディ紹介
- 基調講演
- 宣言文採択

参加者：計96名

高校生 日本21名 海外10名(7カ国)、
ユースリーダー 日本9名 海外4名(4ヶ国)
ボランティア、実行委員等 40名、一般参加者 12名

アジア・ユースサミット SNS

HP



<https://jafs.or.jp/ay/index.html>

Instagram



https://www.instagram.com/ay_sasiayouthsummit_jafs/?hl=ja

Facebook



<https://www.facebook.com/Asia-Youth-Summit-101956422179264>